

【研究名】：自動車運転等の禁止等の記載がある医薬品に対する患者への説明に関する現状分析

【研究目的】

近年、薬の副作用による保健衛生上の危害発生または拡大を防止するため、添付文書の使用上の注意に「自動車運転等の禁止等」の記載がある医薬品を処方または調剤する場合、医師または薬剤師から患者へ注意喚起の説明を徹底することが求められています。当院では2014年6月12日より院内処方せんが発行された外来患者さんを対象に説明・指導を開始しました。そこで、指導が行われた患者さんの診療データを用いて、現状の把握を行いたいと考えています。また、指導の効果についても検証することにしました。

【研究意義】

「自動車運転等の禁止等」の記載がある医薬品に対する患者さんへの説明体制を構築し、説明・指導を行っていますが、現状を分析し、説明・指導の質を改善することは、薬の影響による危険な自動車運転による事故の回避といった社会的な利益につながると考えています。

【調査の対象となる患者さん】

2014年6月～2014年10月の間に、愛媛大学医学部附属病院で「自動車運転等の禁止等」の記載がある医薬品が処方され、指導を受けた患者さん。

【方法】

調査の対象となる患者さんのカルテから、以下の項目を調べます。

性別、年齢（生年月日）、処方日、処方内容、自動車運転の有無、自動車運転に影響を与える可能性のある症状の有無。

指導前後で自動車運転に対する意識変化について調べます。

【研究結果】

自動車運転に影響を及ぼす恐れのある症状が現れているにも関わらず、約4割の患者は運転を行っている現状が明らかとなりました。症状が現れている場合には交通事故につながる恐れもあり、注意薬、禁止薬の区分を問わず、自動車運転を避けるよう指導する必要があると考えられました。（第18回日本医薬品情報学会にて発表）

【患者さんの個人情報の管理について】

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて患者さんのプライバシーを

守るよう努めています。結果の発表や出版に際しては個人が特定できるような情報は掲載しませんので、患者さんの個人情報外部に漏れる不利益となることはありません。

【研究実施体制】

研究機関： 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究代表者責任者： 教授 荒木 博陽

研究責任者： 准教授 田中 亮裕

副部長 田中 守

薬剤主任 飛鷹 範明

薬剤師 宮崎 由衣

薬剤師 園浦 将矢

研究支援員 中川美菜子

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。

本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお願いします。

研究責任者： 准教授 田中 亮裕

電話番号： 089-960-5731

e-mail: akiki@m.ehime-u.ac.jp